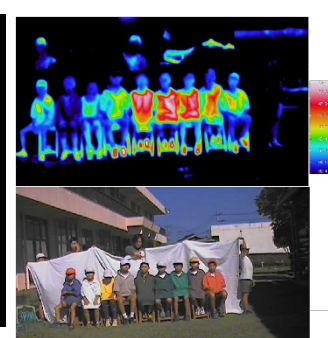




適応研究としての取り組み (将来街区設計への応用)



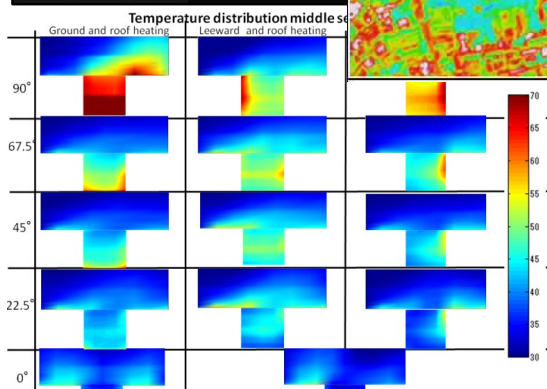
国立研究開発法人 国立環境研究所
 専門分野：環境学、地理学、中国語・英語・韓国語
つくば科学教育マスター 一ノ瀬 俊明
 (115年 ときとまき)

どんなことを教えている？
 「身近な熱の世界」と題し、地上 15m(高層作業車)から見える様々な地表面 (建物や道路、水溝、土壌、緑生など) の温度をサーモグラフィで観測したり、赤外線放射測定計、気象観測機材などを使用し、赤外線の特徴や人体温熱感覚の仕組み、衣服の色影と夏の健康リスクの関係などを学ぶ実験を行っています。

趣味：タロスカントリースキー、かなりヘビーな動画トレーニング、中国語のボランティア活動(漢語)入射機、造幣(中国語、ドイツ語など) 子どもの頃の夢：字書(英文)もしくは読書家

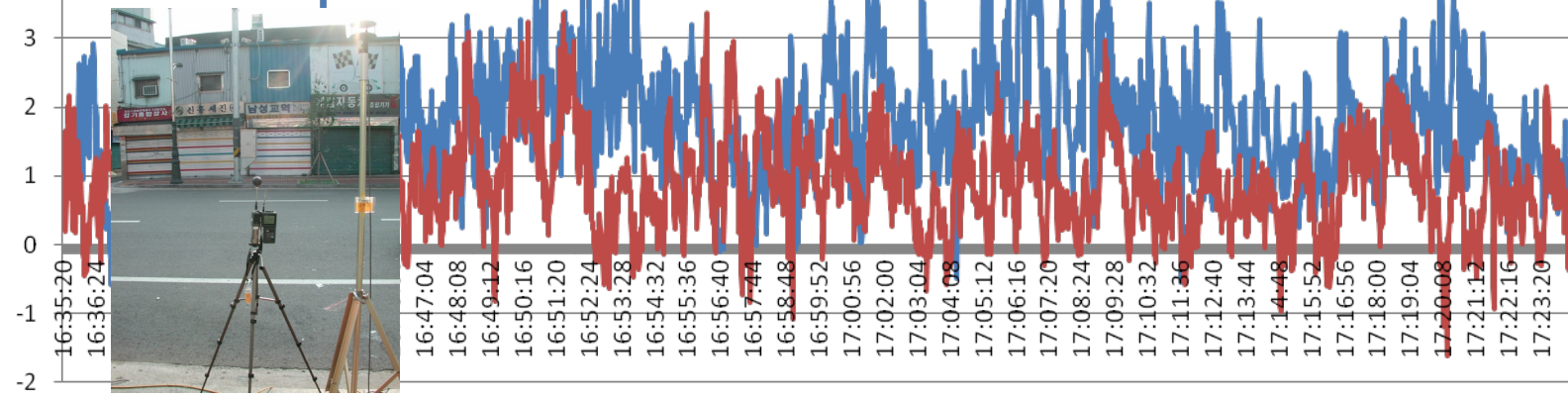
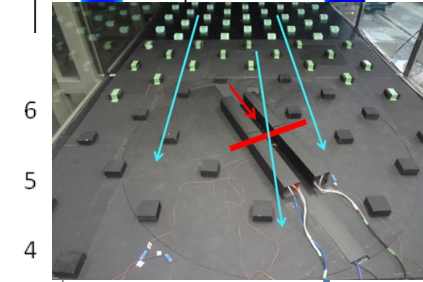
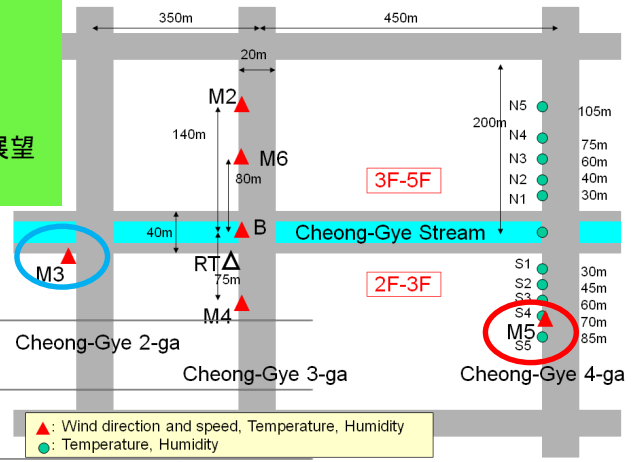
所属：つくば情報科学研究所
 電話：029-883-1111
 E-mail: pin112@city.tsukuba.jp

環境研究のアウトリーチ (街づくりへの応用も)



Modeling the Relationship between the Urban Development and Subsurface Warming in Seven Asian Megacities
 (Ichinose and Liu, 2018: Sustainable Cities and Society)
 Fusion study of geography and environmental engineering
 (Ichinose, 2018: "Spatial Analysis, Modelling and Planning", IntechOpen)
地理学のアウトリーチへの提言 —行政支援にもとづく事例と展望 (一ノ瀬, 2018: E-journal GEO)

街路空間の構成が屋外熱環境と流れ場に与える影響に関する風洞実験(と野外觀測)



名古屋大学
 連携大学院
 教授
 (都市環境学) など